

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-154709

(43) 公開日 平成9年(1997)6月17日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

A 4 7 G 33/00

識別記号

片内整理番号

F I

A 4 7 G 33/00

技術表示箇所

R

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-347032

(22) 出願日 平成7年(1995)12月5日

(71) 出願人 000139366

株式会社ワイ・イー・データ

埼玉県人間市大字新光182番地

(72) 発明者 浜田 賢一

埼玉県人間市大字新光182番地 株式会社

ワイ・イー・データ内

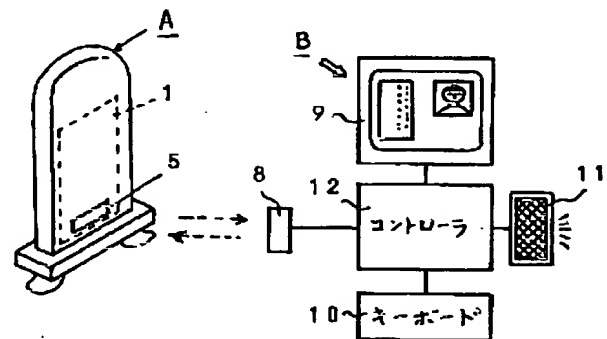
(74) 代理人 弁理士 服部 修一

(54) 【発明の名称】 マルチメディア位牌とそのデータ制御再生装置

(57) 【要約】

【課題】 故人の経歴や生前の様子を記録し、必要に応じて表示、再生することができるマルチメディア位牌とそのデータ制御再生装置を提供する。

【解決手段】 電子回路1を組込んだ位牌Aとそのデータ制御再生装置Bとから成り、前記電子回路1は半導体記憶素子2、マイクロコントローラ3、通信回路4、赤外線送受信部5より構成し、データ制御再生装置Bは、通常のパーソナルコンピュータと同じく表示装置9、キーボード10、音声再生用スピーカ11、コントローラ12、再生用ソフトウェアから構成される。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 故人の声、写真、手紙、ビデオテープ、経歴等をデジタル情報として記録させる半導体記憶素子と、この半導体記憶素子に記憶させたデジタル情報の読み出し、書き込みを行うマイクロコントローラと、このマイクロコントローラが読み出したデジタル情報信号を赤外線データ信号に変換して出力し、また赤外線入力データ信号をデジタル情報に信号化する通信回路と、赤外線入力データ信号を受信して前記通信回路に与える赤外線受信素子と、前記通信回路の赤外線データ信号を送信する赤外線送信素子を具えたことを特徴とするマルチメディア位牌。

【請求項2】 アクセス信号及び設定・修正信号等を送出するキーボードと、このキーボードの出力信号によって制御されるコントローラと、このコントローラに接続される画像表示装置及び音声再生用スピーカと、前記コントローラに接続され、故人に関する情報及び音声を赤外線データ信号として送信し、また赤外線データ信号を受信する赤外線データ信号受信部から成ることを特徴とするマルチメディア位牌のデータ制御再生装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、所謂緑り位牌と過去帳の機能を合せ持つ全く新しい概念に基づく現代的位牌とその制御再生装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】周知のように、位牌には一故人の戒名と死去した日を表記した単独形式のものと、比翼形式のものと、緑り位牌形式のものがある。

【0003】何れも戒名で表記されているので、3代目以降の遺族になると、その故人がどのような人であったのかわからなくなることが多い。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】そこで本発明は、故人の経歴や生前の様子を記録し、必要に応じて表示、再生することができるマルチメディア位牌とその制御再生装置を提供しようとするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明を上記の課題を解決するためになされたものであって、第1の発明は、位牌に関するもので、故人の声、写真、手紙、ビデオテープ、経歴等をデジタル情報として記録させる半導体記憶素子と、この半導体記憶素子に記憶させたデジタル情報の読み出し、書き込みを行うマイクロコントローラと、このマイクロコントローラが読み出したデジタル情報信号を赤外線データ信号に変換して出力し、また赤外線入力データ信号をデジタル情報に信号化する通信回路と、前記赤外線入力データ信号を受信して前記通信回路に与える赤外線受信素子と、前記通信回路の赤外線データ信号を送信する赤外線送信素子を具えマルチメディア位牌

である。

【0006】第2の発明は、第1の発明にかゝる位牌を制御再生する装置に関するもので、アクセス信号及び設定・修正信号を送出するキーボードと、このキーボードの出力信号によって制御されるコントローラと、このコントローラに接続される画像表示装置及び音声再生用スピーカと、前記コントローラに接続され、故人に関する情報及び音声を赤外線データ信号として送信し、また赤外線データ信号を受信する赤外線データ信号受信部から成る制御再生装置である。

## 【0007】

【作用】第1の発明にかゝる位牌は、過去帳と同様に多数の故人の戒名及び死去した日だけでなく、故人の経歴や生前の音声並びに活動状況等を詳細に記録することが出来る。

【0008】また、第2の発明にかゝる制御再生装置は、第1の発明にかゝる位牌に記録された多数の故人の情報、即ち経歴や音声及びビデオ画像を任意に選択して読み出し再生することができ、また新たな故人の情報を第1の発明にかゝる位牌に書き込むことができる。

## 【0009】

【発明の実施の形態】図1は第1の発明と第2の発明の構成を示す模式図で、Aは位牌、Bは位牌Aのデータ制御再生装置である。

【0010】位牌Aは、図示のように通常の位牌と同じ外観に象られていて、内部に図2に示すような電子回路1が組み込まれている。

【0011】電子回路1は、半導体記憶素子2（以下単に記憶素子という）、マイクロコントローラ3、通信回路4、赤外線送受信部5より構成され、赤外線送受信部5は赤外線送受信素子6と赤外線送受信素子7から構成されている。

【0012】半導体記憶素子2は、ROM、またはEPROM、または書き換え可能ROM、またはRAMからなり、記憶素子2には、故人の声、写真、ビデオ、手書きの文章、経歴、係累情報等をデジタル化して記憶させる。また、マイクロコントローラ3のプログラムも格納する。

【0013】マイクロコントローラ3は、後述のデータ制御再生装置から来る指令に拠り、記憶素子2にある故人のデジタルデータを通信回路4へ送ったり、記憶素子2にある故人のデータの修正追加を行う。

【0014】通信回路4は、マイクロコントローラ3からの故人に関するデータをシリアルデータにして赤外線送信素子6へ送る。赤外線送信素子6は、そのデータ信号を赤外線に変換してデータ制御再生装置Bの赤外線送受信部8へ送る。また、赤外線受信素子7はデータ制御再生装置Bの赤外線送受信部8からの赤外線の指令をデータ信号に変換して通信回路4に送り、通信回路4はマイクロコントローラ3へ指令を送る。

【0015】データ制御再生装置Bは、図1に示す様に、通常のパーソナルコンピュータと同じく表示装置9、キーボード10、音声再生用スピーカ11、コントローラ12、再生用ソフトウェア（図示せず）から構成され、さらにマルチメディア位牌Aとのデジタルデータのやり取りの為に赤外線送受信部8を備える。

【0016】そしてデータ制御再生装置Bは、オペレータの指令により赤外線送受信部8より、マルチメディア位牌Aの赤外線送受信部7へ指令を送る。マルチメディア位牌Aは、上記の説明に従い、故人のデジタルデータを赤外線送受信部5からデータ制御再生装置Bの赤外線送受信部8へ送り、データ制御装置Bは、受信した故人のデジタルデータを、肉筆の手紙写真や動画として表示装置9に出したり、音声としてスピーカ11で再生したり、また故人の経歴等を表示装置9に文字として再生する。

【0017】なお、オペレータはキーボード10を操作してデータ制御再生装置Bの赤外線送受信部8より指令を出し、マルチメディア位牌Aの中の記憶素子2の故人のデジタルデータの修正追加が出来る。

【0018】

【発明の効果】第1の発明によれば、遺族に忘れられてしまい勝な故人の声、写真、手紙、ビデオテープ、経歴等をデジタルデータに変換して記憶させることができ、そして第2の発明にかゝるデータ制御再生装置を併

用することにより、前記の故人に関する情報を表示したり、また、後日知人から聞いた故人に関するエピソードなどを第1の発明にかゝる位牌の記憶素子に追加記憶させることができる。

【0019】従って、本発明によれば、遺族に忘れ去られ勝な故人に関する情報を永く保つと同時に、データ制御再生装置で手経に再生して故人を偲ぶことができ、命日の際や法事の際に資するところ極めて大である。

【図面の簡単な説明】

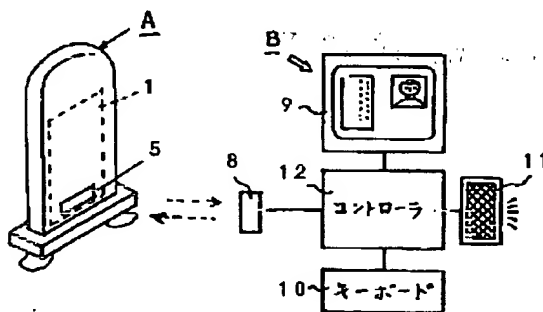
【図1】本発明の実施例の構成を示す模式図である。

【図2】位牌に内蔵した電子回路のブロック図である。

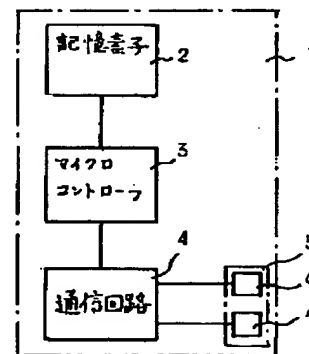
【符号の説明】

A	位牌
B	データ制御再生装置
1	電子回路
2	半導体記憶素子
3	マイクロコントローラ
4	通信回路
5	赤外線送受信部
6	赤外線送信素子
7	赤外線受信素子
8	赤外線送受信部
10	表示装置
11	音声再生用スピーカ
12	コントローラ

【図1】



【図2】



BEST AVAILABLE COPY

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**